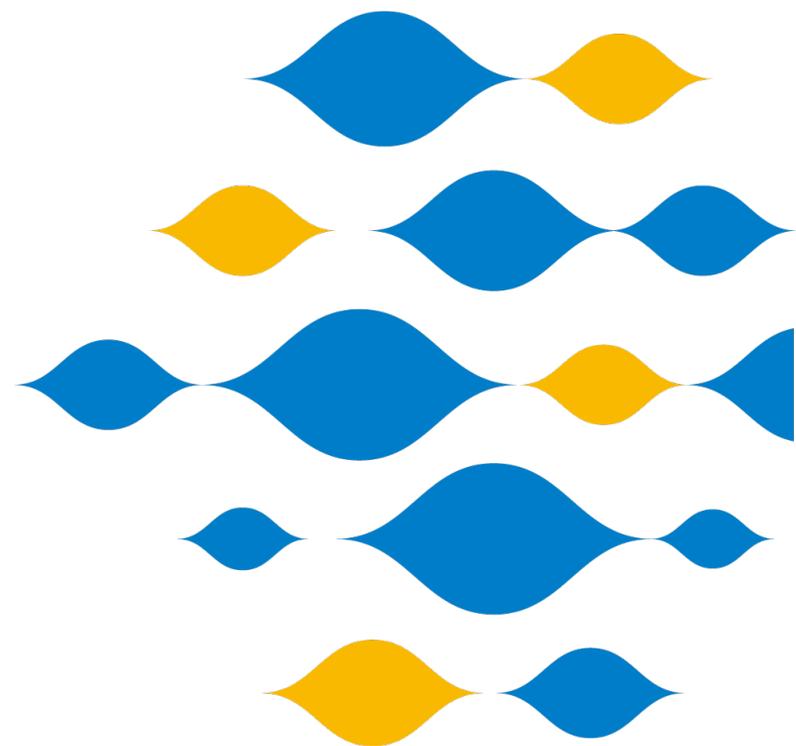


千葉県銚子市沖洋上風力発電事業 第5回法定協議会資料

千葉銚子オフショアウィンド合同会社

2025年3月28日



環境影響評価手続きに関するご報告



前回法定協議会以降の環境影響評価手続きについて

- 方法書に対する経産大臣勧告を2022年10月に受領、勧告事項を考慮の上、2022～23年の1年間をかけて環境調査を実施
- 調査結果を取りまとめのうえ、2024年4月に準備書を届出、公告・縦覧（4月23日～5月27日）、住民説明会（銚子市・旭市で計3回）を実施
- 準備書に対する千葉県環境影響評価委員会・環境省・経済産業省の審査を経て、2025年1月に経産大臣勧告を受領

項目		2022年度				2023年度				2024年度					
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
環境影響評価	方法書手続	■													
	準備書手続	環境調査			■										
		予測評価／準備書作成					■								
		届出・公告・縦覧・住民説明会 ※一般意見の募集を含む									■				
		審査・意見	千葉県 ※自治体意見を含む									■			
			環境省											■	
			経済産業省											■	

▲第4回法定協議会（11/21）

“協議会意見とりまとめ（第3回協議会）”で示された環境配慮事項の準備書への反映

- 風車の影による影響や、鳥類、海生生物、景観、人と自然との触れ合いの活動の場等への影響、流向・流速の変化による九十九里浜等への影響等について適切に調査・予測・評価を行うとともに、影響を回避・低減できるよう配慮すること。
- 環境影響評価における予測・評価には不確実性が伴うことから、工事中及び供用後は、必要に応じて環境監視や事後調査（鳥類、海生生物等）を実施し、重大な環境影響が懸念された場合は、追加的な環境保全措置を講ずること。

上記環境配慮事項を考慮のもと、地域関係者や有識者のご意見を伺ったうえで、十分な調査・予測評価の実施と事後調査計画の立案を行い、準備書として取りまとめた。

準備書の審査結果（千葉県知事意見 2024年10月、環境大臣意見 2024年12月、経産大臣勧告 2025年1月）

■ 環境保全措置

- モノパイル打設工に伴う騒音・水中音に対する先進的な低減装置の設置の検討
- 周辺環境との調和に配慮した風力発電機の色合いの検討

■ 事後調査

- 最新の知見及び専門家等の助言を踏まえた具体的な計画の策定
- バードストライク等、ブレード・タワー等への接近・接触による影響を把握できる事後調査の検討
- 水中音による影響を回避、または低減する観点から適切な事後調査の検討

上記勧告に加え、更に地域関係者や有識者のご意見を伺い、対応方針を評価書として取りまとめる予定。

漁業共生/地域共生に関する取組



2022年より実施している漁場実態調査に基づく新たな漁場のデザイン・創造を主軸に、関係漁業者や協力企業の皆様と連携しながら、様々な取り組みを開始しています。

主な取組事例

- 漁場実態調査への支援（含む海藻育成実証試験等）
- ブルーカーボンクレジット創出に向けた藻場造成実証事業
- 地域リーダー育成スクールの実施（地元漁業者、若手経営者らが参画）
- 水産まつり等地元イベントへの出展・協力
- 魚食普及に資する活動および事業検討（含む海外）



〈海藻育成実証試験〉



〈ブルーカーボン実証事業〉



〈地域リーダー育成スクール〉



〈銚子港水産まつり／
ぎんめだいまつり〉



〈海外での水産普及活動〉

地域産品の販路拡大に向けた取組

三菱商事のグループ企業を含む協力企業らと連携し、水産品に限らず、地域産品のPR・販路拡大に積極的に取り組んでいます。

主な取組事例

- 三菱食品主催によるイベントにおける銚子ブースの出店（地元事業者11社が参加）
- ABC Cooking Studioとの連携（市内水産加工事業者のふるさと納税返礼品を活用したメニュー開発）
- (株)ローソンとの連携（地元ローソン店舗の協力による地域産品の販売強化）
- 社員食堂等で地域産品を活用したメニューを提供する銚子フェアを開催



<三菱食品ダイヤモンドフェア>



<ABC Cooking Studioによるメニュー開発>



<地元ローソン店舗との連携>

住民生活の支援に向けた取組（買い物困難問題）

銚子市、病院職員の皆様からのご要望を受けて、既存テナントが撤退してしまった銚子市立病院内の限られたスペースにて、2023年12月に(株)ローソンによる省人化店舗を出店しました。

主な取組のポイント

- 病院利用者／関係者、周辺住民も含めた、買い物困難問題の解決に資する施策として取組を開始
- 一部時間帯の無人化／限られたスペースの有効活用を通じて出店／運営コストを最小化、持続可能な運営を追求
- 千葉県の地域課題解決型補助事業に採択され、実証期間および実証期間後含め試行錯誤を通じ最適化を実現



<無人時の入場方法>



<セルフレジ>



<店内の様子>

地域の教育支援・人材育成に向けた取組

自治体、漁協関係者のみならず、銚子商業高校、銚子ジオパークといった地元関係者と連携し、協力企業のリソースも最大限活用しながら、地域での教育支援、人材育成に向けた取り組みを開始しています。

<地域の教育支援に向けた取組>

- Amazon Web Serviceとの協業によるSTEAM教育プログラムの提供（小中学校を対象にキット寄贈も実施）
- 銚子ジオパークと連携した自由研究教室等の環境教育プログラムの構築

<洋上風力人材育成に向けた取組>

- 高校における洋上風力カリキュラム構築に向けた取組（C-COWS、渋谷潜水工業らとの協業）
- 他県を含む大学生の研修視察受け入れ（千葉大、長崎大等）



<STEAM教育プログラムでの作品>



<銚子ジオパーク主催自由研究教室>



<銚子商業高校でのプログラム構築>